
平成25年度病害虫発生予察特殊報第2号

平成25年7月1日
栃木県農業環境指導センター

モトジロアザミウマの発生について

1 害虫名：モトジロアザミウマ *Echinothrips americanus* Morgan

2 発生物名：ハイビスカス

3 発生経過

平成25年4月に宇都宮市の花き栽培施設（ハイビスカス）で発生したアザミウマ類について、農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、本県未発生のモトジロアザミウマと判明した。本種は、インゲン（東京都：平成11年）、オオバ（愛知県：平成14年）、ミョウガ（高知県：平成15年）、ハイビスカス（鹿児島県：平成16年）、ディーフェンバキアおよびシンゴニウム（香川県：平成25年）でそれぞれ報告されている。

4 被害の特徴

ハイビスカスでは、主として中位葉に成虫と幼虫が混在した集団で寄生することで、葉にカスリ状の被害を生じ、激発時には落葉する。ほかに、バラ、ポインセチア、キュウリ、メロン、ナス、トマト、ピーマンなどにも寄生する。

5 生態及び形態

卵から成虫までの成育期間は、20℃で33.9日、30℃で11.4日とされ、高温であれば短期間に世代を繰り返す。雌成虫の体長は約1.6mm、雄成虫は約1.3mmである。前翅基部は白いラインが入ったように見える。



図1 モトジロアザミウマ成虫



図2 加害による葉のカスリ症状

6 防除対策

- (1) 施設開口部に防虫ネットを展張して侵入を防止する。また、苗などによる持ち込みにも注意する。
- (2) 花き類・観葉植物では、アザミウマ類に登録のあるディアナ SCなどを散布する。

7 引用文献

伊藤啓司・大野 徹（2003）植物防疫 57: 223-225.

詳しくは、農業環境指導センターまでお問合せ下さい。

Tel(028-626-3086) Fax(028-626-3012) HP(<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>)